

シカゴ双葉会日本語学校全日校 学校だより

2025年2月3日



わかば



2月号

学校教育目標 学びを **愉しく** 人と **仲よく** 心も身体も **元気よく**

～創立当時の思いを受け継ぎ、世界一の日本人学校を目指します～



アメリカ合衆国では第47代大統領ドナルド・トランプ氏が就任しました。

20日の大統領就任式典では子どもたちが、アメリカという国がどのような国を知るよい機会になったのではないかと思います。さまざまな時代の大きな転換期かもしれません。先日訪問させていただいた現地の公立高校でも、政権の交代によりそのまま在学できるかどうか不安視する生徒がおり、そのサポートとケアに教職員の方が取り組まれているとの現実的な声もあるようです。だれが大統領になるかで、こうした市民の生活まで直接影響力があるなど、日本の政治制度からは考えられないものです。

いずれにしてもアメリカ合衆国の新たな門出をお祝いします。

表紙の写真は、昨年9月に小学部6年生が訪問したホワイトハウス内に飾られていた燭台です。過去のホワイトハウスの写真を調べると、かなり前から置かれていたようで、各国首脳との数々の歴史的な会談を見守り、華やかな舞踏会や夕食会場でも使用されていたようです。



○中学部スキー教室 1泊2日 1月16日～17日

中学部のスキー教室が実施されました。

今年はたいへんおちついた天候の中で開催でき、計画された現地インストラクターさんによる受講を全て無事に終えることができました。国内校ですと、必ず一人か二人は、「もういやだ」「疲れて滑れない」などと弱音をはき、本部で過ごす生徒もいるのですが、中学部にはそうした生徒は一人もいませんでした。

生徒たちの中にはスキーが初めてという生徒もいましたが、2日間の中で、かなり滑ることができるようになり、新たな自信をつけることになったようです。夜にはレクリエーションも開催され、仲の良い中学部の様子を微笑ましく見ることができました。こうしたスキー教室は費用がかかることや、様々な生徒が増えたこと、校外に引率する学習は教員の勤務時間を含めた大きな負担ともなることから廃止する学校もあります。しかし大自然の中で、短期間のうちに、できなかったことができるようになり子どもたちに自信を与え、夜間を通して仲間と良い思い出ができる体験も貴重です。スキーのよさでもあります。

ただし、本校は特に小学部の6年生では修学旅行と半年しか間があかないこと、毎年参加費用が高くなり、保護者の方への負担があることや、日本と異なる環境の中で、様々な面での配慮を必要とする子どもが増えていることを感じています。

令和5年度から小5を含めたこうした形で始まりました。今年で2年目になりますので、次年度以降様々な方からのご意見もいただきながら、今後について検討していく必要性はあると考えています。

なお、児童生徒はすでに楽しみにしていますので、令和7年度は計画どおりに従来の形で実施する予定です。





○中学部キャリア教育 心臓外科医の先生からお話をききました

中学部では22日（火）にシカゴ大学の心臓外科医の北原大翔先生から最先端の医療現場の様子をお話いただきました。先生はユーチューバーとしても有名な方で、生徒に大きな刺激となったようです。



○小学部校外学習 2年生 アーリントンハイツ図書館

2年生は21日（火）にアーリントンハイツ図書館へ行き、図書館で行われている様々な活動を学んできました。感心したのは、どの子も英語で質問をし、図

書館の方とやりとりができていました。子どもたちの発音もきれいで、たいへん聞き取りやすい英語を話します。

午後には壁新聞も立派に完成し、掲示しての下校となり、その成長の様子にさらに驚きました。1年生から2年生へと2年間の学びの成長にたいへん感心しました。

○2月から3月の行事予定

2月 3日（月）全校朝会

6日（木）小学部スキー教室 1泊2日 ～7日（金）

10日（月）授業公開旬間・保護者懇談会 ～21日 中1・2定期テスト

11日（火）中学部修学旅行説明会

17日（月）**Presidents' Day**

18日（火）安全点検の日

21日（金）中学部修学旅行説明会 予定

25日（火）学校運営委員会 PTA 会計監査

27日（木）小学部4年生現地校交流学习

28日（金）6年生を送る会

3月 3日（月）全校朝会

5日（水）卒業式練習

6日（木）6年生謝恩会（児童の卒業を祝う会）

7日（金）卒業式練習

8日（土）補習校修了式，離任式

10日（月）卒業式練習

- 1 1 日（火）卒業式予行
- 1 2 日（水）卒業式前日準備
- 1 3 日（木）卒業式
- 1 4 日（金）修了式・離任式，最終ミターケ
- 1 5 日（土）春休みに入ります

○離任式について

※3月14日に行われる離任式ですが，今年度は離任式とミターケをあわせて実施します。ここでは児童生徒に加え，保護者と卒業した子どもたちも参加を可とします。

なお，子どもたちと先生方との最後の授業の場です。

式中は写真撮影をお控えください。子どもたちに先生方の最後のお話をおちついた環境の中で聞かせたいと考えています。

式の終了後は可能ですが，子どもたちが素直に感情を表す場面でもあります。個人写真の撮影や扱いには十分ご注意ください。集団で興奮状態にもなりやすい場面ですので，子どもたちがおちついたお別れができるようにご理解とご協力をお願いいたします。

○後期学校アンケートについて

※2月の教育活動が終了したあと，紙面でお配りしますので，ご協力をお願いいたします。回収方法は事務室前に回収箱を用意し，期限は3月3日から3月21日（金）までとさせていただきます。お立ち寄りの際に投函ください。

○スマホ，P C 児童生徒の使用についてご確認を

※スマホやP Cを使用したトラブルが毎年おきています。

こうした行為は時に犯罪となり，人を深く傷つけることとなります。同時に拡散された情報は，行方がわからず回収のしようもありません。探してもないから大丈夫とは言い切れません。就職の際など，ネット上でこうした調査を行う企業や団体もあると聞きます。安易な行動が将来の破滅につながることもあります。

定期的にご家庭でもお子さんのスマホやP Cがどのように使われているかを確認していただくことが大切です。

○中学部第1回進路説明会を開催しました

※1月25日（火）図書室において第1回進路説明会を開催しました。

進路は早い取り組みが今や常識です。昨年もお話をしましたが，小学校6年生に学校の説明会を行う公立高校もあります。一時帰国の際に，確定でなくても先方の学校に連絡を入れ，可能な限り訪問して，実際の様子を見学したり，教職員の対応や校内の雰囲気に触れることが児童生徒にも刺激を与え，よい結果となります。

経験上，最もよくないケースは，保護者の価値観で進路を決める家庭です。

そうならないためにも，小学校から世の中の様々な職業や社会にふれる機会を与えていくことが大切です。

○次年度の英語検定試験について

※今年度3回目の英検が行われています。

次年度、令和7年度はこの3学期に行われる第3回の英語検定を行わない方向で考えています。（1回目と2回目は実施します）

理由ですが、受検生がたいへん少なく、補習校の子どもたちは一人もいない状況です。年度末の時期であり、教員は成績処理、卒業や進級、進学・転出事務処理等で繁忙な時期ですので、見直しを検討しました。

関わる教員も日曜日、あるいは勤務時間を越えて、無給のボランティア状態で行われており、国内校でもかなり前から学校ではとりやめた学校が多数です。英検協会の方にお聞きしますと、アメリカ国内の日本人学校では十数年前から日本人学校では実施されていないとのお話です。

しかしながら、児童生徒のためには今すぐ本校が無くすことは教師感覚としてはできません。（ニューヨークやロスに行くことになります）

そのため、次年度は第3回のみ無くしていきたいと考えています。

受験計画などおありだと思いますので、1年前にお知らせしました。

繰り返しますが、第1回と2回は例年どおり行います。

○進路に関わる郵送料金について

※昨年度の進路事務で大切な書類が先方に届いていないことがありました。

そのため、今年度より進路事務に関する郵送費用は、該当する児童生徒の保護者の方に負担をしていただき、信頼できる方法で送ることになりました。

紙1枚ですが、お子さんの進路を左右する重要な書類ですので、信頼のおける手段を選択すると、数十ドルかかります。進路は個人が原則ですので、ご理解をお願いします。



○書き初めが図書館に展示されています

※1月31日（金）よりアーリントンハイツ図書館の東側玄関入口付近に

本校の書き初めの展示を行っています。場所が限られているため、金賞受賞の作品を掲示しております。

従来、お世話になりましたテンスケ様には、頻繁に掲示がはがれ、ご迷惑をおかけすることがあるため、今年度はそちらでの掲示は行わず、一部の作品になります。アーリントンハイツ図書館になりました。

作品は2月28日（金）に回収いたしますので、それまでの間ご覧ください。

○日本の学校教育は感性を豊かに育てます

※菅沼 昌博教頭先生の現地教育事情からの報告によるとたいへん興味深いことをお聞きしました。

それによると、日本の教科書では主に理科や国語を中心に小学校1年生の時から、かなりの数の植物や草花の名前が出てくるそうです。改めて示されると小学1年生でこんなにたくさん出てくるのかと思うほどの驚きでした。アメリカの教科書、日本とはニュアンスが異なりますが、教科書的なものを調べると、植物や草花の名前はほとんどでてこないとのこと。たしかに、同時に示された日本とシカゴ周辺の月別による花の開花数の比較でも、日本は年間を通して多くの草花や植物がある中、シカゴ周辺は一年の半分ほどの時期に限られる上、数もすくないのです。理科の教科書すらないそうです。

こうしたことから、日本の子どもたちが日本の教科書を使用し、学習指導要領に沿った学習を日常的に受けることにより、豊かな感性を育み、自然に目を向け、自然から学ぶ教育が行われていることを再確認できました。

○アメリカの人々に寄り添う

※カリフォルニア州ロサンゼルス近郊の大規模な火災が続く中、今度はレーガンナショナル国際空港でのアメリカン航空と陸軍ヘリコプターの衝突事故とアメリカの人々は悲しみに包まれています。

レーガン ナショナル国際空港は、小学部の修学旅行でも例年使用している空港で、実際に子どもたちが着陸した滑走路手前の航路上の事故でした。身近な大事故に心を痛めている児童生徒もいると思われます。

ロサンゼルス近郊の大規模火災の被災者のみなさまと関係者に、心からお見舞いを申し上げますと共に、飛行機事故でお亡くなりになられた多数のみなさまとそのご家族に衷心よりお悔やみを申し上げます。